資料４

第27回全国障害者スポーツ大会【オープン競技】の開催地について

令和7年(2025年)5月26日
国民スポーツ大会準備課

1 概 要

第27回全国障害者スポーツ大会　オープン競技【フロアバレーボール】の会場地として受入することとしたい。

オープン競技：正式競技以外で、障害者のスポーツ普及に貢献すると考えられる競技

2 経 過

年月日	内容
令和6年(2024年)6 月	国スポ・全障スポ長野県準備委員会は第27回全国障害者スポーツ大会オープン競技実施基本方針により、関係団体等に対し、公募を行った。
令和7年(2025 年)2月6日	公募に対し、長野県フロアバレーボール協会から開催希望申請があり、開催地として飯山市を希望している旨、長野県国スポ・全障スポ準備課から説明があった。 ※内容は下記に記載
	飯山市を開催地とした理由 ・新幹線駅があり、全障スポ大会の開催地以外の市町村 ・また、市内に協力者がいるため
令和7年(2025年)3月9日	競技会場の候補施設を検討するため、長野県フロアバレーボール協会の西村会長他4名が来飯、勤労者体育館他2施設を候補とした。
令和7年(2025年)3月21日	フロアバレーボール競技の飯山市開催について、理事者に説明・承認。
令和7年(2025年)3月25日	長野県にフロアバレーボール競技の飯山市開催を了承
令和7年(2025年)5月26日	長野県、飯山市、長野県フロアバレーボール協会の3者による開催業務分担の最終確認を行った。

3 団体が希望する大会

長野県フロアバレーボール協会の希望

開催競技 ： 日本フロアバレーボール連盟(JFVA)クラブ日本一決定戦
　　競技役員を含め約120名

希望日時 ： 令和10年(2028年)10月21・22日or28・29日(土日)
　　全障スポ開催期間中の２日間

希望会場 ： 勤労者体育館・飯山小学校体育館・木島小学校体育館の3施設

4 参加が予定される競技団体

日本フロアバレーボール連盟(JFVA)

全国加盟32チーム(北海道・東北地区(6)、関東地区(15)、中部地区(7)、近畿地区(4))

内長野県は2チーム(TREX、T-shout)

5 オープン競技実施基本方針

運営：オープン競技実施団体が、すべての運営を行う。

経費：競技会開催に係る経費は、実施団体の負担とする。

6 会場地市町村の役割

(1)県実行委員会との連絡調整

(2)会場借用・使用方法に関すること

(3)県・実施団体等の打合せ

(4)競技会開始式・表彰式に関すること(理事者の参加)

(5)広報・プログラム挨拶文等

7 今後の予定

(1)長野県に内諾書の提出(6月)

(2)国スポ・全障スポ長野県準備委員会常任委員会の承認後に開催地として内定(8月)

第 11 回常任委員会
令和6年2月8日決定

第27回全国障害者スポーツ大会　オープン競技実施基本方針

第27回全国障害者スポーツ大会において実施するオープン競技は、公益財団法人日本パラスポーツ協会の定める「全国障害者スポーツ大会開催基準要綱」及び「第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会開催基本方針」に基づき、次の方針により実施する。

1　実施目的

（1）「する」「みる」「ささえる」といった様々な形で、オープン競技に参加する県民が、スポーツへの関心を高め、行動につなげる契機とする。

（2）障がいのある人もない人もみんなでスポーツを通じた交流を拡大し、障がいへの理解を深め、多様性を尊重する共生社会づくりを目指す。

2 募 集

広く障がい者の間にスポーツを普及する観点から有効と認められる競技について、県内の関係団体等へ公募する。

3 運営・経費

オープン競技の実施を希望する団体（以下「実施団体」という。）は、競技会開催にあたり必要な業務について、すべての運営を行う。

また、競技会開催に係る経費については、実施団体の負担とする。

4 実施競技の選択

実施競技は、公募を行い、次の事項について総合的に検討し、選択する。

（1）「全国障害者スポーツ大会競技規則」に定める個人競技及び団体競技以外の競技であること。

（2）主管する競技団体等に大会運営能力があること。

（3）県内に出場可能な選手・チームが存在すること。

（4）県外の選手・チームが出場できるルールが確立している競技であること。

（5）既存施設での開催が可能であること。

（6）原則として、第27回全国障害者スポーツ大会の開催期間内に実施が可能であること。

5 選定手順（予定）

（1）令和6年7月～　関係団体等に対し、公募

（2）令和6年12月～　オープン競技（案）について審議・選定

（3）令和7年2月～　中央主催者（文部科学省・日本パラスポーツ協会）と協議の上、決定